

No.5

令和6年7月4日(木)

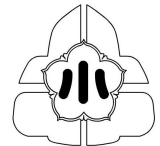
学校だより

下野市立石橋北小学校 Tel.52-1134

発行者 齋藤 佳代子

教育目標

- 心豊かな子
- 進んで学ぶ子
- 健康でたくましい子



梅雨の鬱陶しい日が続いていますが、晴れた日は、プールから子どもたちの歓声が聞こえてきます。学校の北側にある田植え体験をさせていただいた小川さんの田んぼの稲も緑が濃さを増し美しい彩を放っています。昇降口近くには、1年生が育てている朝顔がすくすくと育ち、大きな葉を広げて花を咲かせています。2年生の畑には、ナスが実ったり、キュウリが勢いよくつるを伸ばしていたり夏到来。今年は、2年生が野菜の苗を植える際、保護者の渡辺様が、「畑の先生」としてご指導くださいました。植え付けのポイントを分かりやすく教えてくださいました。子どもたちは育った野菜を収穫し、「こんなに大きいのが採れたよ。」と見せてくれます。その笑顔は最高です。

稲や植物の成長の様子を、一人1台学習端末を持って外に観察に出かけます。撮影してきた写真を見せてもらうと、全体を写している子や、葉っぱを大きく写す子や、根元やおしべ・めしべを中心に写している子と様々です。同じ植物を観察していても、それぞれの感性が違えば注目するところにも違いがあることを実感します。子どもたちは、梅雨空を跳ね返すかのように毎日元気に学校生活を送っています。



音楽鑑賞会

6/26



全校児童が体育館に集まり、音楽鑑賞会を開催しました。クラリネットの阿嶋優希さんをはじめ、ピアノ、チェロの演奏者の皆さんをお迎えしました。それぞれの楽器の紹介や普段はあまり聞かない楽器を聴かせてもらい、貴重な時間でした。途中でクイズやインタビュータイムがあったり、指揮者体験コーナーがあったり、3名の演奏者の皆さんとやり取りしながら楽しい時間を過ごしました。子どもたちは、集中して聴き入ったり、手拍子を打ち演奏に参加したり、一緒に口ずさんだりしながら、鑑賞していました。教科書に掲載されている曲から、ミュージカル曲やおなじみのディズニーの曲の演奏を、クラリネットやピアノ、チェロの音色、美しい歌声で聴くことができました。そして、最後に「小さな世界」を楽器の演奏に合わせて全校児童で歌いました。アンコールでは、楽しく軽快なリズムの曲で演奏会を締めくくってくださいました。こうして生の音楽を聴き、本物の音楽に触れることで、子どもたちが音楽の魅力を感じられ、また、心の栄養となる楽しい演奏会となりました。

全校児童を代表して6年代表児童がお礼のことばを伝えました。



廃品回収～皆様に感謝～

6月1日廃品回収を行いました。温かいご支援、ご協力をいただきました皆様並びに地域の皆様に、心より感謝申し上げますとともに、下記のとおり結果報告をさせていただきます。今後とも、本校及びPTA活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。収益金につきましては児童の教育活動資金として有効に活用させていただきます。

収益金
152,442円



1年生学校探検

数名が校長室を訪れました。緊張しながらも「失礼します。」と丁寧に挨拶をして室内をきょろきょろ、興味津々の様子でした。校長室にあるものをスケッチしたり、ことばでまとめたりしました。

学校探検は、学校の施設や学校生活を知り、友だちや学校を支える人々との関わりを深めていく機会になります。この後取材したことをまとめて教室で発表しました。



朝の読み聞かせ～本からえること 学ぶこと～

読み聞かせボランティアの皆様にお世話になります。読み聞かせが始まると子どもたちは、お話に全集中！短い時間ですが、しっかり本の世界に浸ることができました。ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。毎回、学年の子どもたちに見合ったお話（本）を選定し、過去に紹介した本と重ならないように工夫して読み聞かせさせていただきます。次回は、7月12日（金）となります。本に親しみ、興味・関心が高まってほしいと思います。



【身振り手振りでお話してくださいませ。臨場感溢れる読み聞かせでした。】

特色ある教育活動

6月19日オオムラサキのさなぎが成虫（チョウ）になりました。理科専科の荒川教諭の取組で毎年石北小学校の子どもたちはオオムラサキの成長過程を観察しています。大きく羽を広げた瞬間を間近で見られるのはなかなか無い貴重な経験です。昼休みに、子どもたちに見送られてオオムラサキは羽ばたいていきました。まずは、グリーンベルトのトチノキにとまり、やがて広い大空へ旅立っていきました。そして、オオムラサキを追いかけて、手を振ってお見送りする姿がとても印象的です。



租税教室 6年生

6月25日、3名の講師の皆さんをお招きし租税教室を実施しました。生活の中で見かけるいろいろな施設が「税金を使って作られているもの」と「税金を使わないで作られているもの」のどちらになるのかを友だちと一緒に考え、身近なものにも税金が使われていることを改めて知ることができました。講話の中では、日本の国の支出と収入について、「〇億円」という単位が出てきました。そして、講師の先生が持ってきてくださった一億円の見本を実際に持ってみると、子どもたちからはその重さに驚きの声があがりました。今回学んだことを実生活に生かします。



ユースサポート事業

白鷗大学の学生3名が毎週1回ずつ、1年生の教室に学習支援員として来ています。未来の教員を目指す学生の皆さんです。よろしくお願いします。

